

学習指導案の形式（例） 高等学校 農業，工業，商業，看護，情報，福祉

○○○○（科目名） 学 習 指 導 案  ○○○○高等学校 ○○○○科 ○年○組（○○○○コース） 平成○年○月○日（○） 第○校時 場所：○○教室 指導者：○ ○ ○ ○	
単 元 (題材)	あるまとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。 (例えば、一つの完結性のあるまとまった学習経験を生徒に与える単位として、教科書の「章」とか「節」を基準にする。)
目 標	単元（題材）全体の指導を通じて生徒に形成させようとしている目標を、学習指導要領と関連付けて具体的に記述する。 ○ (関心・意欲・態度) ○ (思考・判断) ○ (技能・表現) ○ (知識・理解) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     ・評価の四つの観点を踏まえて具体的な目標を立てる。                      ・生徒の発達段階を踏まえ、学習経験とつながりを持たせて書く。                      ・適切な評価ができるように精選して書く。                      &lt;学習指導要領の目標・指導内容及び生徒の実態に基づいたものであること&gt;                 </div> ※文末表現例 【生徒の立場】「～しようとする」「～できるようになる」など
指 導 計 画	単元（題材）を構成する小単位の名称を書き、その指導順序と配当時間を明示する。  第一次 …… 1 時間 第二次 …… 3 時間 第 1 時 第 2 時 第 3 時 …… (本時) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     本時が含まれる第二次についてのみ時案を示す。                 </div> 第三次 …… 2 時間 ※具体的な指導構想の表明となるよう、指導内容や指導事項を分かりやすく列挙し、本時の位置付けを明確にする。
指 導 上 の 立 場	○生徒の実態 <既習事項の定着度，生徒の興味・関心・意欲，単元（題材）に関する知識・技能など> ○単元（題材）観 <単元（題材）の内容，単元（題材）を取り上げる意義、既習事項との関連，今後の展開など> ○本単元（題材）で工夫する点や手立て <指導・支援の力点，工夫，形態，仮説，評価の工夫，その他の配慮事項など> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     ・目標，生徒の実態，単元（題材）観，工夫・手立ての関連が分かるように述べる。                      ・これまでの指導と評価を踏まえる。                      ・研究主題が設けられている場合には，研究主題との関連について項目を立てて述べる。                 </div>

本 時 案 (第〇次の第〇時)		
本 時 の 目 標	<b>【生徒の立場】</b> <input type="radio"/> (思考・判断) <input type="radio"/> (知識・理解)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・単元（題材）の目標の「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」のうち、本時の学習活動で目標としているものを具体的に書く。</p> <p>・ねらいを明確にした授業づくりのために一つないしは二つの目標に絞り込む。</p> </div>
	※文末表現例 (関心・意欲・態度) 「～しようとしている」「～に取り組んでいる」 (思考・判断) 「～について考察している」「思考を深めている」 (技能・表現) 「～することができる」「発表することができる」 (知識・理解) 「～について理解している」「知識を身に付けている」	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・観点・方法など
1 <b>【生徒の立場】</b>  2  (1)  (2)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             学習過程に沿って、生徒の活動を具体的に書く。           </div> ※文末表現例 ～を確かめる。 ～について考える。 ～に気付く。 ～を知る。 ～について話し合う。 ～について理解する。 など	<input type="radio"/> <b>【指導者の立場】</b>  <input type="radio"/> .  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             指導過程に沿って、教師の指導・支援上の配慮事項などを書く。              ・指導の意図、重点方法、工夫など              ・指導と評価の一体化を図る手立て              ・生徒一人一人の学習への手立て              ・予想される生徒の反応              ・板書計画や準備物などは別に欄を設けることもある。           </div> ※文末表現例 ～を示す。 ～を見せる。 ～を問う。 ～意識を高める。 ～を評価する。 ～の場を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             本時の目標と対応させる。              評価場面は1～2か所           </div> <input type="radio"/> 該当する評価規準 (関心・意欲・態度) < 観察 (評価方法) >  ・おおむね満足できる状況 (B) を実現していない生徒への具体的な手立て  ※評価方法例 観察 ワークシート 作品提出 小テスト 相互評価表 など
3	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/>
4	<input type="radio"/>	

### ※学習指導案作成上の留意事項

- 書式は固定的なものではなく、学習者に提示する活動の目標やそれを達成するための手立てを具体的に表現するのに適した書式を選択する。
- どのような書式を選択しても、次の点は学習指導案から読み取れるようにする。
  - ・指導者が学習内容及び生徒をどのように理解して授業を計画しているか。
  - ・指導計画全体の中で、本時をどのように位置付けているか。
  - ・学習者がどのような目標を持って活動すればよいのか、また、学習者がその目標を達成できるように、指導者がどのような手立てを講じているか。
  - ・指導の中で評価がどのように位置付けられ、どのように活用されているか。(目標に照らしてその実現状況を見る評価(目標に準拠した評価)であること。)